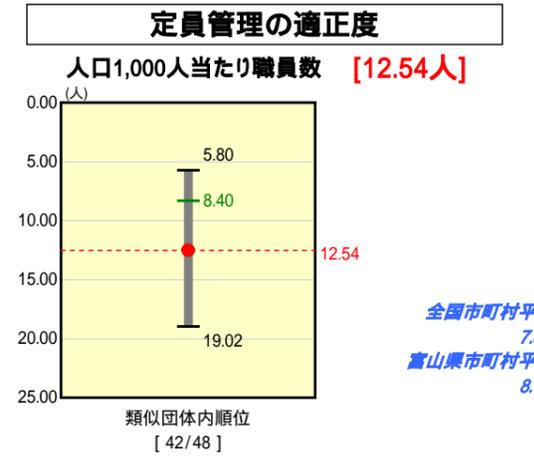
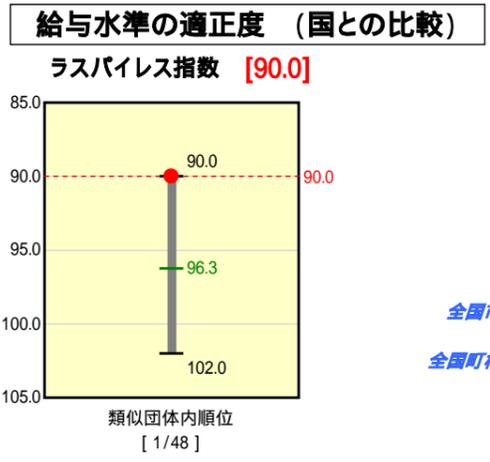
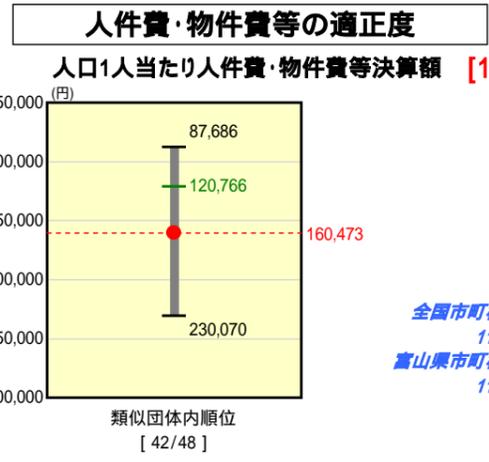
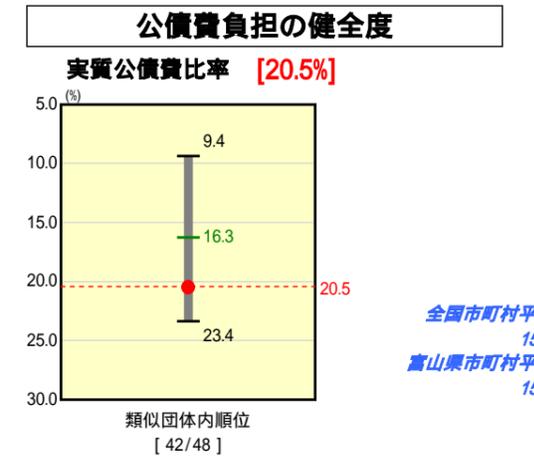
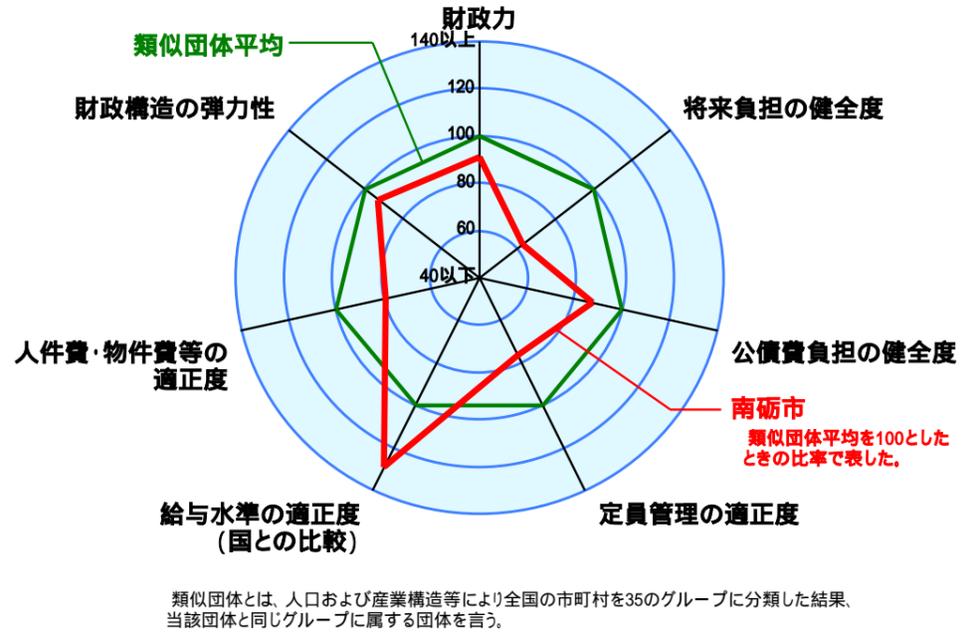
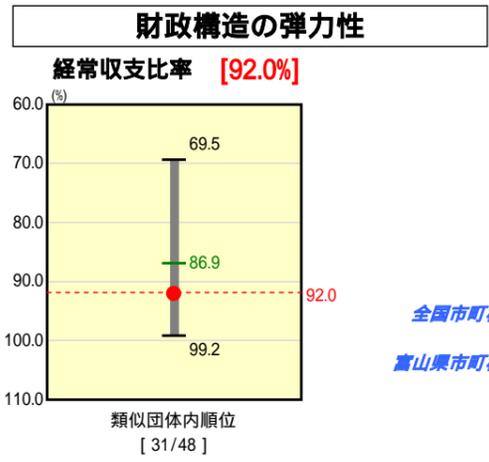
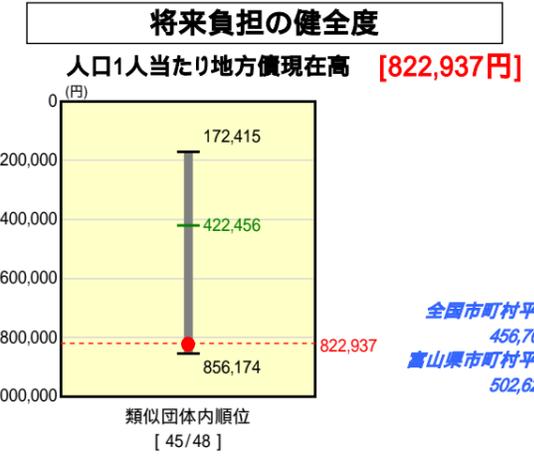
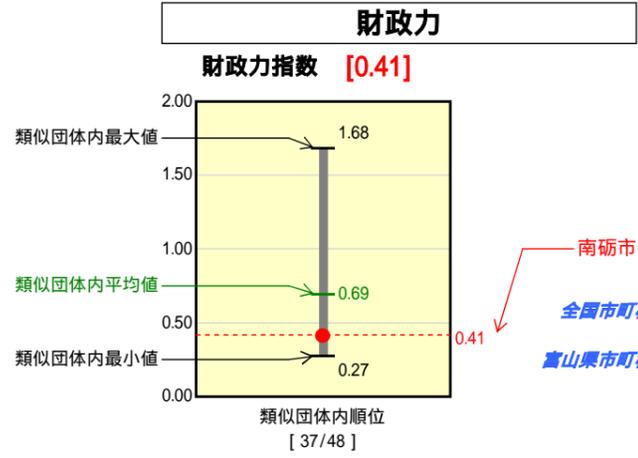


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

富山県 南砺市

人口	57,965	人(H19.3.31現在)
面積	668.86	km ²
歳入総額	39,139,383	千円
歳出総額	37,414,182	千円
実質収支	1,556,138	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
景気的好転や税源委譲などの影響から基準財政収入額が増額したことにより、当該指数が改善している。今後、税収の徴収体制を強化すると共に、企業誘致や人口増対策などにも引き続き取り組みながら、財政基盤の強化に努める。

【経常収支比率】
類似団体に比して大きな職員数や公共施設数などにより、当比率が高くなっている。今後も引き続き、コストを意識した予算執行や職員数適正化、類似公共施設統廃合、高利率地方債繰上償還などを行い、総合計画で定めた90.0%以下の早期達成に努める。

【実質公債費比率】
合併前及び合併関連事業の地方債の償還が高み、当比率が高くなっている。今後も引き続き、投資的事業費の縮減や交付税措置率の高い地方債の活用、地方公営企業債の償還への繰入金圧縮などにより、公債費負担適正化計画で定めた年度(平成26年度)より早い時期での18.0%以下達成に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】
充当率の高い地方債を優先的に使っているため、類似団体に比して数値が高い。合併後は、積極的な繰上償還と新規発行の抑制を行っていることから、地方債残高総額は前年度から13億円減少し、指数も改善している。今後も、引き続いて残高の圧縮に努める。

【ラスパイレース指数】
合併以前からの給与水準や体系を引き継いでおり、当指数は類似団体内で最低となっている。今後も引き続き、給与水準の適正化に努める。

【人口1,000人当たり職員数】
職員数の適正化を計画的に進めている効果から、昨年度と比して職員数は4%減と大幅に改善している。今後も引き続き、組織体制の見直しや退職者の3分の1補充、早期勧奨退職の実施により、合併後10年で200人減員を目指す。(病院事業を除く。)

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
人件費や公共施設の維持管理費に要する経費が高み、当該決算額が大きくなっている。しかし、合併に要した施設修繕が一段落したこと、当初予算枠を縮減したことにより、当該指数は改善している。今後も引き続き、職員数適正化や類似施設統廃合、指定管理者制度の積極的な導入を行い、コストの低減を進める。